

11月5日（土）「池鯉鮒の歴史と自然の散歩みち」第5回わくわくウォーキングコースマップ

全長 約5.8km

9時00分	集合	知立市役所 記念写真撮影 準備運動
9時15分	出発	0.7km
9時25分		① 馬市の跡
9時30分		② 東海道松並木
		0.5km
9時40分		③ 元禄の道標
9時45分		1.1km
10時05分		④ 牛田城跡
10時10分		0.5km
10時20分		⑤ 花だん
10時25分		0.3km
10時30分		福祉の里ハツ田 トイレ休憩
10時40分		0.4km
10時45分		⑥ 花だん
10時50分		1.1km
11時10分		猿渡公民館・内 藤魯一像 紙芝居上演
11時50分		0.1km
11時55分		⑧ 遍照院
12時10分		1.1km
12時30分	到着	知立市役所
(流れ解散)	終了	

※時間は目安であり、実際の進行によって変わりますので、現地での案内に従ってください。

①馬市の跡



馬市は、毎年4月25日に始まり5月5日に終わりました。池鯉鮒宿の東の野(松並木)には、4～5百頭の馬が繋がれ、馬の値を決める所を「談合松」と言っていました。

明治になって、慈眼寺境内に移り、馬が牛にかわり、鯖市として昭和18年(1943)を最後にその歴史を閉じました。

②東海道松並木



かつては並木八丁と呼ばれたところで、現在約500mにわたって、松並木が続いています。池鯉鮒の松並木では、馬市が開かれていたため、東海道の両側に副道があるのが特徴でした。

③元禄の道標



古来より、多くの人が八橋の古刹無量寿寺やかきつばた庭園を訪れたようで、八橋への道標が現在も2ヶ所に建っています。ここには、「從是四丁半北八橋業平作観音在(これより450m北へ行くと八橋というところに業平が作った観音さまがあります。)」八橋村江五丁(八橋村へは500m)」と書かれています。

⑤花だん

散歩みち愛護会「南陽憩のフラワーベッド」が管理している花だんです。四季折々の草花が植えられ、散策をする方の目を和ませています。

⑥花だん

散歩みち愛護会「ボランティアサークル新友会」が管理している花だんです。広々とした河川敷沿いにハナミズキや季節の草花が植えられています。

④牛田城跡



牛田城は戦国時代の天文年間(1532～1555)に、牛田玄藩頭正興が主君刈谷城主水野忠政の命を受けて築城したお城の跡です。このお城は永禄3年(1560)の今川義元上洛のときに落城したとも、義元の死後廃城になったとも伝えられていますが、この今川氏との攻防の際、牛田正興の活躍は見事だったそうです。

現在は民家に囲まれた閑静なところに城跡を示す石碑がたたずんでいます。

⑦内藤魯一像

※今年は没後100年にあたります



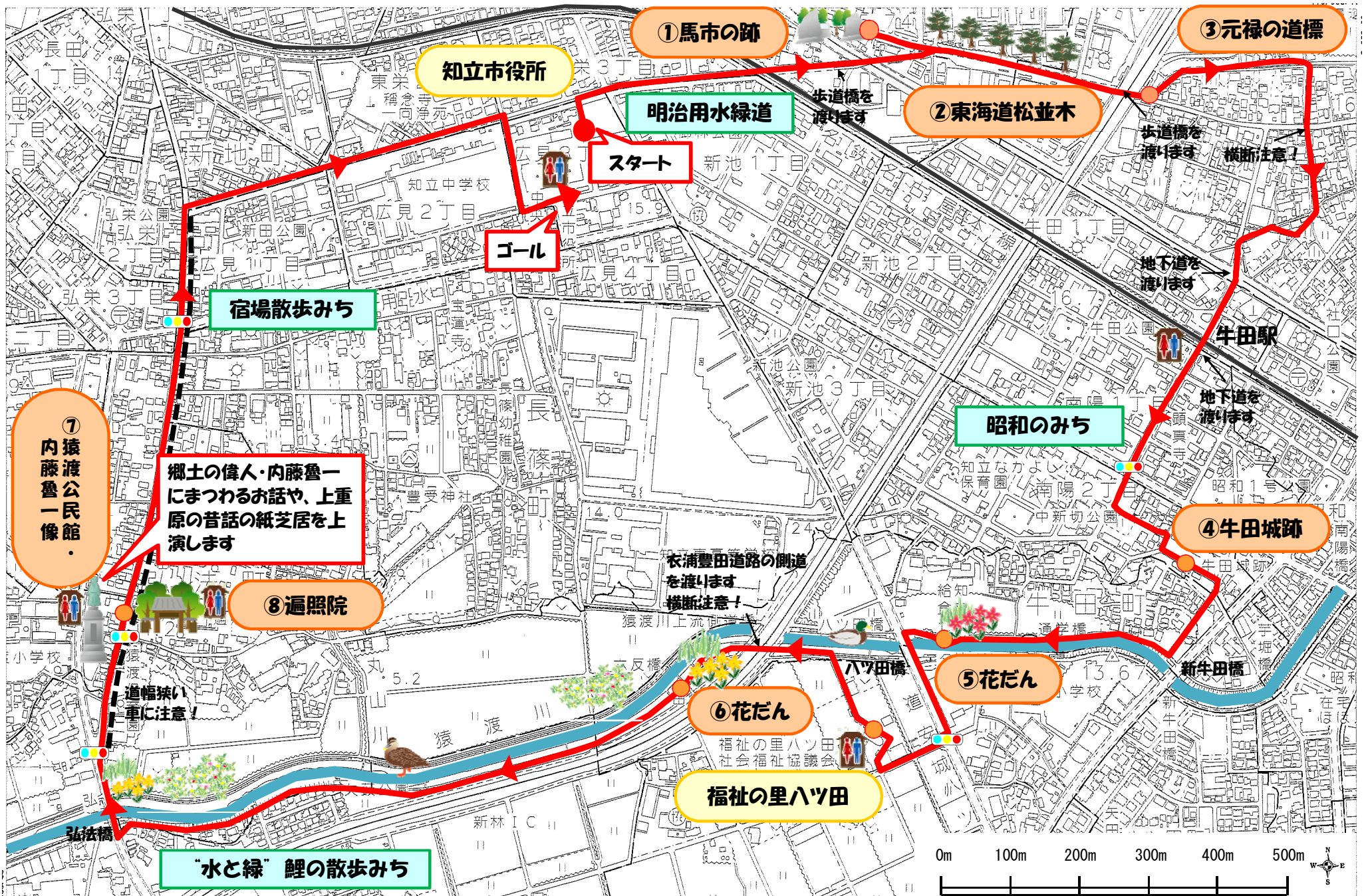
内藤魯一は、弘化3年(1846)福島藩家老の長男として生まれました。自由民権運動に目覚め、愛知県初の政治結社を創設。板垣退助の片腕として働き、板垣遭難の際には危急を救ったことでその名を知られています。銅像は昭和11年(1936)に建設されましたが、太平洋戦争の金属回収に供出されたため、昭和27年(1952)に再建されました。

⑧遍照院



三河三弘法の一番札所であり、弘法大師の自像三体のうち、「見返弘法大師」の1体が本尊に祀られています。弘仁10年(819)、上重原町家下に創建されましたが、天正年間に兵火のためすべてを失い、延宝元年(1673)現在地に移りました。旧暦の21日には弘法さんの縁日が開かれ、多くの人でにぎわいます。

弘法通り



◆主催 池鯉鮒散歩みち協議会
◆共催 知立市観光ガイドボランティアの会、知立市健康ボランティア、内藤魯一没後100年記念事業実行委員会、知立市